神奈川の道路整備の促進を求める要望書

神奈川県知事	黒岩　祐治
横浜市長	原澤　敦美
川崎市長	福田　紀彦
相模原市長	本村　賢太郎
神奈川県道路利用者会議会長	髙橋　昌和
横浜市道路利用者会議会長	池本　裕生
川崎市道路利用者会議会長	髙橋　浩治
道路整備促進期成同盟会神奈川県協議会会長	落合　克宏
神奈川県都市計画街路事業促進協議会会長	鈴木　恒夫
首都圏中央連絡道路建設促進期成同盟会会長	黒岩　祐治
新東名高速道路建設促進期成同盟会会長	黒岩　祐治
神奈川東部地区高速道路網整備促進協議会会長	黒岩　祐治
関東国道協会神奈川県地区協議会会長	山口　貴裕

神奈川は、東名高速道路や東海道新幹線などの交通の大動脈が県土を東西に貫き、羽田空港や横浜港、川崎港などを介し、国内外へのゲートウェイとしての役割を担っている。

そこで、本県では、３つの特区（国家戦略特区、さがみロボット産業特区及び京浜臨海部ライフイノベーション国際戦略総合特区）を活用して、我が国の経済成長を牽引する拠点形成に取り組むとともに、「観光立県かながわ」の実現を目指し、国内外から多くの観光客が訪れる魅力ある観光地域づくりを推進している。

しかし、こうした取組を支える本県の道路ネットワークは、人口や都市機能の集中に比して十分とは言えず、また、国際競争力の源泉である横浜・川崎の湾岸エリアや羽田と、潜在力をもつ県の中央エリアとの高速道路でのつながりが弱く、成長の連鎖が県の全域に広がりにくいという地域構造上の弱点を持っている。

本県では、首都圏中央連絡自動車道（圏央道）を構成するさがみ縦貫道路の全線開通や、新東名高速道路の一部区間の開通などにより、広域的な移動性の向上や渋滞の改善が図られ、企業活動の活性化や観光振興などの大きなストック効果が現れている。

今後、より一層の生産性の向上や観光振興による経済の好循環を図っていくためには、引き続き、新東名高速道路の残る区間を始め、圏央道を構成する横浜湘南道路や高速横浜環状南線、厚木秦野道路、計画の具体化が必要な新東名高速道路の海老名以東や川崎縦貫道路、伊豆湘南道路など、つながるべき道路をつなげていく必要がある。

また、道路ネットワーク機能を最大限発揮させるため、ピンポイント渋滞対策やスマートインターチェンジの設置などにより、高速道路等の有効活用・機能強化を図ることも重要である。

さらに、本県では、今年９月の台風第25号により一般道路において道路ネットワークの寸断などの被害を受け、災害対応や県民生活に支障をきたしたところであり、全国各地で頻発している豪雨や切迫性が指摘されている首都直下地震などにより、首都圏の玄関口に位置する本県の道路ネットワークが寸断されれば、その影響は全国に波及することが懸念される。

また、令和７年１月には、埼玉県八潮市で下水道管路の破損に起因すると考えられる道路陥没事故が発生し、人々の暮らしに大きな影響を与えたところであり、インフラの老朽化対策の重要性が再認識された。

これらのことから、本県における災害時の道路ネットワークの確保など、防災・減災、国土強靭化を図ることや、道路施設の老朽化対策を講じることは、まさに国家的な課題である。

ついては、安全で活力と魅力ある神奈川を実現するため、次のことを、計画的かつ着実に推進されることを強く要望する。

１　経済活動や防災・減災、国土強靱化を支える道路予算の確保

力強く持続的な経済成長の実現、豊かで活力ある地域づくり、安全・安心な県土づくりのため、高速道路や、これと一体となって機能し地域の交流連携を支える幹線道路、観光地にアクセスする道路などの整備とともに、自然災害に事前から備え、生命・財産を守る防災・減災、国土強靱化のための対策が、長期安定的に進められるよう、必要な予算を満額確保すること。

令和９年度予算では、資材価格・人件費の高騰などの影響を適切に反映し、道路関係予算を拡大した上で、防災・減災、国土強靱化の取組を進めるため、国土強靱化実施中期計画に基づき、必要な予算・財源を通常予算とは別枠で満額確保すること。

公共施設等適正管理推進事業債については、令和８年度末に期限を迎えるが、公共施設が大量に更新時期を迎える一方、地方団体の財政は依然として厳しい中、引き続き、長期的な視点を持って施設の更新・統廃合・長寿命化などに取り組めるよう期限を延長すること。

２　自動車専用道路等のネットワーク整備

（１）神奈川の活力と魅力を高めるとともに、首都直下地震等の大規模災害に対応する強靱な幹線道路網を形成するため、自動車専用道路ネットワークの整備促進を図ること。

・東名高速道路とダブルネットワークを形成する『新東名高速道路(新秦野インターチェンジ～静岡県境)』
・首都圏中央連絡自動車道を構成する『横浜湘南道路、高速横浜環状南線』
・新東名高速道路等と一体のネットワークを形成する『厚木秦野道路(事業化区間)』

（２）県土の骨格となる自動車専用道路等のネットワークについて、更なる地域の活性化や防災力の向上に向け、整備促進及び計画の具体化等を図ること。

・新東名高速道路の『県内区間の全線６車線化』の早期着手及び『海老名南ジャンクション以東』の計画具体化
・『横浜環状道路西側区間』の計画具体化
・『川崎縦貫道路(Ⅰ期)』の整備促進や東京方向へのサービス向上を図る『大師ジャンクションの機能強化』及び東京外かく環状道路との一本化を含め検討中の『川崎縦貫道路(Ⅱ期)』の計画具体化
・『第三京浜道路の東京外かく環状道路等との接続』の計画具体化
・『厚木秦野道路(未事業化区間)』の新規事業化
・『国道357号(事業化区間)』の整備促進や『国道357号(事業化区間(未着手区間))』の早期着手、『国道357号(夏島以南)』の計画具体化
・『新湘南バイパスⅡ期』の整備促進
・『伊豆湘南道路（神奈川と静岡の県境をまたぐ道路）』の計画具体化への支援
・『西湘バイパス延伸』の計画具体化

3　効率的・効果的な渋滞対策

道路ネットワークの機能を最大限発揮させるため、効率的・効果的な渋滞対策の促進を図ること。

- 『東名高速道路　大和トンネル付近・綾瀬スマートインターチェンジ付近の渋滞対策』
- 『中央自動車道　小仏トンネル付近上り線の渋滞対策』及び『相模湖付近下り線の渋滞対策』
- 『横浜新道・国道１号・第三京浜道路の渋滞対策』

4　スマートインターチェンジ等の整備

（1）（仮称）山北スマートインターチェンジ、（仮称）横須賀ＰＡスマートインターチェンジ及びこれらのインターチェンジにアクセスする道路の整備を強力に支援すること。

（2）高速湾岸線の扇島出入口（仮称）については、GX戦略地域に認定された川崎臨海部において、交通アクセスの向上に資することから、整備促進を図ること。

（3）道の駅やサービスエリア等の休憩施設は、地域振興に資するとともに、災害時の防災拠点としての役割も果たすことから、こうした施設の活用や整備促進を図ること。

5　道路施設の老朽化対策

トンネルや橋りょうなどの道路施設の老朽化対策については、予防保全の観点から、継続的な点検診断に基づく効率的・効果的な維持管理・更新を推進し、そのための予算を確保すること。

6　交通安全対策・無電柱化等の推進

通学路などの交通安全対策や、無電柱化を強力に推進するとともに、騒音対策等の沿道環境改善事業を重点的に実施すること。また、安全で快適な自転車通行空間の整備を進めるための支援を実施すること。

7　連続立体交差事業の整備推進

渋滞解消による地域交通の円滑化と、まちの分断解消等の効果が期待される連続立体交差事業の推進のために、必要な事業費を確保すること。

8　重要物流道路の整備

平常時・災害時を問わない安定的な輸送を確保するため、重要物流道路等に指定された路線の機能強化や整備を推進できるよう、十分な予算措置を講じること。

９　道路利用者の生産性・利便性向上

（１）高速道路ネットワークの更なる有効活用に向け、物流の効率化の観点も含め、利用者へのサービス向上を図ること。

・高速道路料金について、ビッグデータ等を活用した混雑状況に応じた料金及び適切な案内方法の導入

・高速道路料金の事業者向け割引の継続及び拡大

・渋滞緩和にも資するETC専用化の推進や本線料金所の早期撤廃

（２）交通混雑の緩和や物流の円滑化に向けて、交通ターミナルの機能強化及び地域の公共交通の維持・充実支援を実施すること。

令和８年 11 月 16 日

道路整備の促進を求める神奈川県大会

道路整備の促進を求める神奈川県大会要望路線

■　建設促進を要望する路線等

（１）新東名高速道路（新秦野インターチェンジ～静岡県境）
（２）首都圏中央連絡自動車道【横浜湘南道路、高速横浜環状南線】
（３）厚木秦野道路【国道246号バイパス】
（事業化区間：圏央厚木インターチェンジ～(仮称)厚木北インターチェンジ、
伊勢原市西富岡～秦野中井インターチェンジ）
（４）川崎縦貫道路【Ⅰ期】（大師ジャンクション～国道15号）
（５）国道357号【東京湾岸道路】（東京都境～横須賀市夏島）
（６）新湘南バイパス【Ⅱ期】
（７）東名高速道路【大和トンネル付近・綾瀬スマートIC付近上り線　渋滞対策】
（８）中央自動車道【小仏トンネル付近上り線・相模湖付近下り線　渋滞対策】
（９）横浜新道・第三京浜道路・国道１号【渋滞対策】
(10) 国道１号【国府津　渋滞対策】
(11) 新東名高速道路【(仮称)山北スマートインターチェンジ】
(12) 横浜横須賀道路【(仮称)横須賀ＰＡスマートインターチェンジ】
(13) 国道16号【追浜駅交通ターミナル整備事業】
(14) 国道246号【都筑青葉地区環境整備事業】

■　必要な事業費の確保を要望する主な路線等

（１）国道１号（保土ケ谷橋工区及び不動坂工区）
（２）国道409号
（３）主要地方道　世田谷町田
（４）主要地方道　横浜生田
（５）主要地方道　横浜伊勢原
（６）主要地方道　原宿六ツ浦他【鎌倉女子大前交差点改良、笠間交差点改良、(都)上郷公田線、(都)田谷線】（首都圏中央連絡自動車道インターアクセス）
（７）主要地方道　藤沢座間厚木
（８）主要地方道　相模原茅ケ崎【上郷立体】
（９）主要地方道　相模原町田（首都圏中央連絡自動車道インターアクセス）
(10) 主要地方道　伊勢原津久井【古在家バイパス】
(11) 主要地方道　小田原山北
(12) 主要地方道　平塚松田
(13) 一般県道　川崎町田【末吉橋・田奈地区】
(14) 一般県道　相模川自転車道
(15) 一般県道　湘南台大神伊勢原【寒川北ＩＣ関連、(仮称)ツインシティ橋、藤沢市域、(都)伊勢原大神線】

(16) 一般県道　長竹川尻【津久井広域道路】（首都圏中央連絡自動車道インターアクセス）
(17) 一般県道　酒井金田
(18) 一般県道　大山板戸
(19) 一般県道　明石下落合【(都)石田小稲葉線・(都)東浅間大島線】
(20) 一般県道　中井羽根尾
(21) 都市計画道路　横浜藤沢線（首都圏中央連絡自動車道インターアクセス）
(22) 都市計画道路　羽沢池辺線
(23) 都市計画道路　山下長津田線
(24) 都市計画道路　環状３号線（首都圏中央連絡自動車道インターアクセス）
(25) 都市計画道路　桂町戸塚遠藤線
(26) 都市計画道路　宮内新横浜線
(27) 都市計画道路　桜木東戸塚線
(28) 都市計画道路　横浜逗子線
(29) 都市計画道路　権太坂和泉線
(30) 都市計画道路　鴨居上飯田線
(31) 都市計画道路　東京丸子横浜線
(32) 都市計画道路　泥亀釜利谷線（寺前地区）
(33) 都市計画道路　恩田元石川線
(34) 都市計画道路　汐見台平戸線
(35) 都市計画道路　保土ケ谷二俣川線
(36) 都市計画道路　長津田駅南口線
(37) 都市計画道路　瀬谷地内線
(38) 市道　五貫目第33号線（上川井・上瀬谷地区）
(39) 都市計画道路　尻手黒川線
(40) 都市計画道路　相原大沢線
(41) 都市計画道路　宮下横山台線
(42) 都市計画道路　淵野辺駅山王線
(43) 都市計画道路　安浦下浦線
(44) 都市計画道路　西海岸線他
(45) 都市計画道路　湘南新道
(46) 都市計画道路　座間南林間線
(47) 都市計画道路　丸子中山茅ヶ崎線
(48) 都市計画道路　金子開成和田河原線
(49) 都市計画道路　穴部国府津線他
(50) 相模鉄道本線連続立体交差事業（鶴ヶ峰駅付近）
(51) 京浜急行大師線連続立体交差事業
(52) ＪＲ南武線連続立体交差事業

■　計画の進捗を図り早期事業化を要望する路線等

（1）新東名高速道路（全線６車線化、海老名南ジャンクション以東）
（2）横浜環状道路西側区間
（3）川崎縦貫道路【Ⅱ期】（国道15号～東名高速道路）
（4）大師ジャンクション（東京方向への機能強化）
（5）第三京浜道路【東京外かく環状道路等との接続】
（6）厚木秦野道路【国道246号バイパス】
　　（未事業化区間：（仮称）厚木北インターチェンジ～伊勢原市西富岡、
　　秦野中井インターチェンジ～（仮称）秦野西インターチェンジ）
（7）伊豆湘南道路（神奈川と静岡の県境をまたぐ道路）
（8）西湘バイパスの延伸（石橋インター以南）
（9）国道357号未事業化区間（横須賀市夏島以南）

要望路線図（自動車専用道路等）



凡　　例	
整備促進要望路線（箇所）	
事業化要望路線（箇所）	
計画促進要望路線（箇所）	

注　一部のインターチェンジ（IC）等については記載を省略している。

要望路線図（一般幹線道路）

(都)山下長津田線
国道246号都筑青葉
世田谷町田
横浜生田
(都)相原大沢線
(都)宮下横山台線
(都)尻手黒川線
長竹川尻
(都) 恩田元石川線
相模原町田
国道409号
(都) 宮内新横浜線
(都) 東京丸子横浜線
ＪＲ南武線連続立体交差事業
川崎町田
(都)淵野辺駅山王線
京浜急行大師線連続立体交差事業
(都) 長津田駅南口線
五貫目第33号線
伊勢原津久井
藤沢座間厚木
(都) 座間南林間線
(都) 瀬谷地内線
国道357号
(都) 羽沢池辺線
相模鉄道本線連続立体交差事業
(鶴ヶ峰駅付近)
酒井金田
(都) 保土ケ谷二俣川線
(都) 丸子中山茅ヶ崎線
(都) 鴨居上飯田線
大山板戸
相模原茅ケ崎
国道1号保土ケ谷橋工区
(都) 桜木東戸塚線
(都)金子開成和田河原線
(都) 横浜藤沢線
(都) 汐見台平戸線
小田原山北
明石下落合
(都) 権太坂和泉線
湘南台大神伊勢原
横浜伊勢原
国道1号不動坂工区
(都) 桂町戸塚遠藤線
(都) 環状３号線
平塚松田
(都) 湘南新道
(都) 泥亀釜利谷線
国道357号
(都) 横浜逗子線
(都) 穴部国府津線他
相模川自転車道
国道16号 追浜駅交通ターミナル整備事業
中井羽根尾
国道1号国府津渋滞対策
原宿六ツ浦他
(都) 西海岸線他
(都) 安浦下浦線

中央自動車道
圏央道
東名高速道路
第三京浜道路
横浜北西線
横浜北線
横羽線
川崎線
湾岸線
横浜新道
横浜横須賀道路
新湘南バイパス
小田原厚木道路
西湘バイパス
箱根新道
真鶴道路
逗葉新道

凡　例	
建設促進を要望する路線	
必要な事業費の確保を要望する路線	
計画の進捗を図り早期事業化を要望する路線	
自動車専用道路等の要望路線	
高速道路・有料道路	
国　道	
県道、主要市道	